Combi

調乳用に 70 度以上のお湯を提供できる製品です。

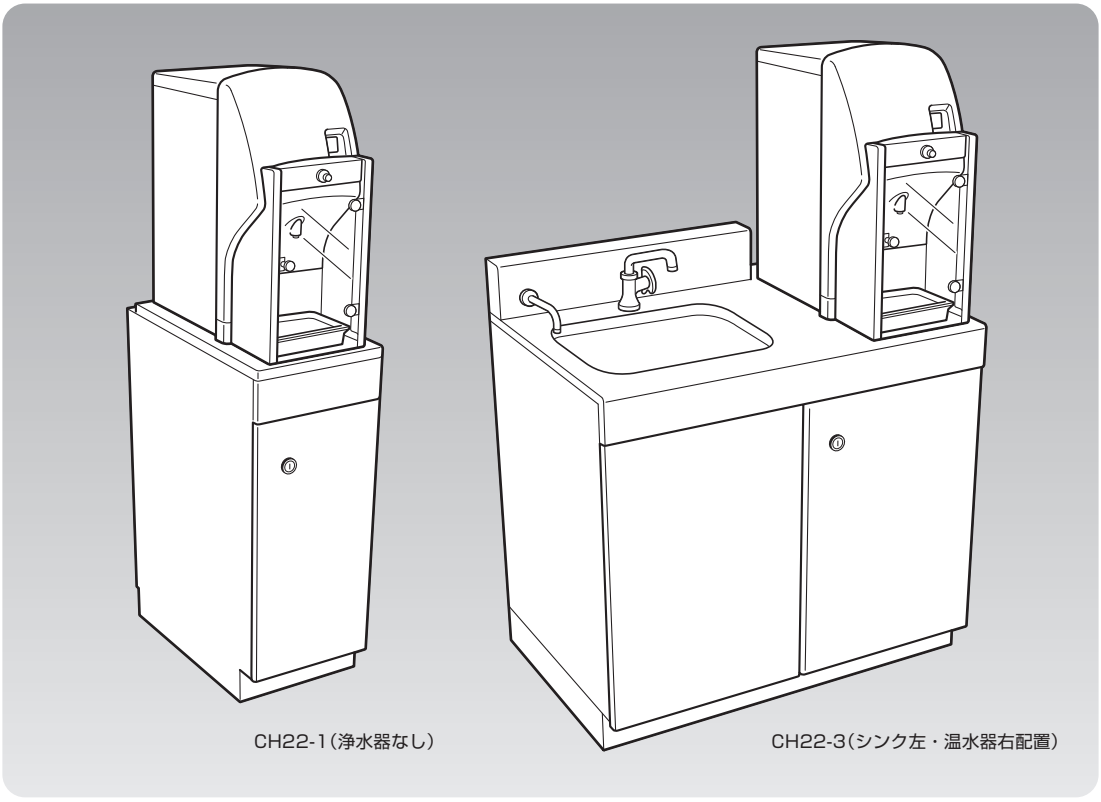
調乳用温水器CH22-1/2/3/4

保存版

コンビ 調乳用温水器CH22シリーズ

取扱説明書・点検マニュアル

＜保証書付＞



CH22-1（浄水器なし）

CH22-3（シンク左・温水器右配置）

※CH22-2（CH22-1 の浄水器あり）
※CH22-4（温水器左・シンク右配置）

本書は調乳用温水器を安全に、また快適にご利用いただくために必要な内容が記載されています。ご使用前によくお読みの上、正しくご使用・点検ください。また、本書は大切に保管してください。

コンビウィズ株式会社

目 次

■ 取扱説明書

1 製品の用途 2
2 安全にご使用いただくために 2
3 施設のかたへのお願い 2
お手入れ方法 4
4 製品仕様 5
5 各部のなまえ 7
6 ご使用方法 8
ご使用準備 8
ご使用方法 9
運転状態の表示 9
故障と思われる前に 10
その他の不具合 10

■ 点検マニュアル

必要工具 11
主な測定専用器具 11
1 日常点検 12
日常点検チェックシート 13
2 定期点検 14
1年定期点検 14
2年定期点検 14
3 定期点検手順 16
1年定期点検チェックシート 25
2年定期点検チェックシート 26

■ 部品交換手順書

1 浄水器 WP-M31 フィルターカートリッジ交換手順 28
安全上の注意 28
梱包内容 28
準備するもの 28
お手入れと点検の方法 29
交換方法 29
2 専用扉の交換手順 31
扉の取りはずしと取り付け方法 31
扉の調節方法 31
3 ミニセラ水栓カートリッジの交換手順 32
ミニセラ水栓カートリッジの取りはずし方法 32
ミニセラ水栓カートリッジの取り付け方法 32

■ 保証書 34

調乳用温水器CH22シリーズ
取扱説明書

1 製品の用途

●調乳用温水器CH22シリーズ（以下本製品）は施設内で調乳をするための浄水器付き（CH22-1除く）調乳用温水器です。

2 安全にお使いいただくために

●ここに示した注意事項は、取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

⚠警 告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

3 施設のかたへのお願い

⚠警 告	●製品を改造しないでください。 思わぬ事故につながるおそれがあります。
	●製品を安全に使用していただくために、日常点検と1年ごと、2年ごとの定期点検をお願いします。 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
	●ブレーカーは確実に押し上げてください。プラグもコンセントに確実に差し込んでください。 火災のおそれがあります。また、水で濡れた手で操作すると感電するおそれがあります。

点検方法は、本書11ページの「点検マニュアル」をご確認ください。

⚠警 告

●ご使用の前に、施工業者が別冊の「施工説明書」に従って設置・試運転を完了していることをご確認ください。
●危険防止のため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解の上ご使用ください。お読みになった後はいつでも使用できるように所定の場所へ保管してください。取扱説明書、本体シールの危険注意表示は遵守してください。指示を守らずに発生した傷害、工事に起因する傷害は保証いたしません。
●やけどのおそれがあります。熱湯の取り扱いには充分にご注意ください。お湯の入った哺乳瓶などを取り出す際には必ず当て布などをご使用ください。また、給湯口、前面排水管に直接ふれないでください。
●本体が倒れて思わぬ事故につながりますので、下記の事項を必ずお守りください。
・強い力を加えたり、寄りかかったりしないでください（特にCH22-1/2はご注意ください）
・本体上部を手前や横に強く引っぱったり、倒したりしないでください。
・扉部分（専用台、専用扉とも）に強い力をかけたり、衝撃を与えたりしないでください。
・設置後や地震発生後は固定部のゆるみがないか確認してください。
●電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手では行わないでください。感電するおそれがあります。また、コードを引っぱると断線するおそれがあります。
●水漏れ事故はお客さまだけでなく近隣にも多大な迷惑、損害を与えます。水漏れなどがないか接続部や浄水器を日常点検してください。
●トレイ、水切りフタは必ず正しく設置した状態でお使いください。守らないと水が排水口に流れず、水漏れします。
①設置・試運転・移設・廃棄に際しては専門業者へご依頼ください。修理は弊社サービスセンターへご依頼ください。
②次の作動条件でご使用ください。
1）上水道
健康を害したり機器を損傷するおそれがあります。水道法の水質基準に適合した上水道をお使いください。
2）給水温度５～40℃（凍結しないこと）
浄水器や湯槽の破裂や部品の破損による事故が発生します。

⚠注 意

●定期的に湯槽を清掃してください（P.18参照）。湯槽内のセンサーにスケールができると運転ができなくなります。
●設置工事・水質による不具合はメーカー保証いたしません。また消耗品は有償です。
●温水器にガス類や引火物を近づけないでください。発火の危険があります。
●本体・表示パネル部に直接水をかけないでください。機器を損傷するおそれがあります。
●CH22-2/3/4は標準で浄水器が付属しています。付属の浄水器を必ずご使用ください。
以下は弊社浄水器を使用する場合の注意事項です。
①汲み置きしないでください。（殺菌作用がなくなっており早く腐敗します）
②浄水器カートリッジは消耗品です。必ず定期的に浄水器カートリッジを交換してください（P.28参照）。
③赤錆などの異物を多く含む水が給水されると浄水器フィルターの目詰まりが発生します。水質により浄水器カートリッジの交換時期が早まる場合がありますので、その場合は早期に交換を実施してください。
④水漏れや器具の破損などによる事故を避けるため、下記の項目を必ずお守りください。
・お客さま自身で浄水器カートリッジの分解・修理はしないでください。
・専用の浄水器カートリッジ以外は取り付けないでください。
⑤浄水器カートリッジの購入、交換は、弊社サービスセンターにご連絡ください。

⚠注 意

●使用頻度に関わらず、継続使用中に電源を切らないでください。長期間電源が切れた場合、再度ご利用になられるときは必ず湯槽内部・ストレーナを清掃するメンテナンスを行ってください。
これらの作業が必要な場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。
●専用台の扉を90°以上開けないでください。蝶番が破損します。なお、設置作業などの際、専用台の扉は蝶番からワンタッチで取りはずすことができます。
●専用台の扉には鍵が付いていますので、管理責任者の方は鍵をかけて保管してください。(扉が開きますと、一般のお客様が内部の機器類を操作した場合、事故、故障につながることがあります)
●冬季など低水温時に頻繁に使用された場合は適温まで沸かしあげるのに時間がかかることがあります。
●毎日のご使用前には必ず給湯口の清掃と、200cc程度の捨て水をしてください。守らないと水質悪化の原因になります(P.12参照)。
●長期間お使いにならないときには、湯槽内の湯水を排水し、中を空にし、止水栓を閉じてください。再度ご利用になられるときは必ず湯槽内や電装部のチェックや、浄水器カートリッジの交換を行ってください。これらの作業が必要な場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。
●断水時には、運転しないでください。断水後の運転は水がにごることがあります。湯槽内の水を入れ替えてください。
●給湯口のキャップは耐熱樹脂製です。スケール防止のため、はずさずに付けたままでお使いください。消耗品ですので交換の場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。

お手入れ方法

●外装を清掃する場合は中性洗剤を薄めたものでふいたあと、さらに水ぶき、乾ぶきで洗剤分、水分の残らないようにふきあげてください。
※内装部(湯槽内及び給湯口へは、洗剤を使用しないでください。)

⚠注意

●中性洗剤以外の洗剤を使用することはおやめください。
アルコールは指定以外の箇所に絶対に使用しないでください。プラスチックが劣化し、退色、ひび割れが発生し破損することがあります。

4 製品仕様

■製品仕様

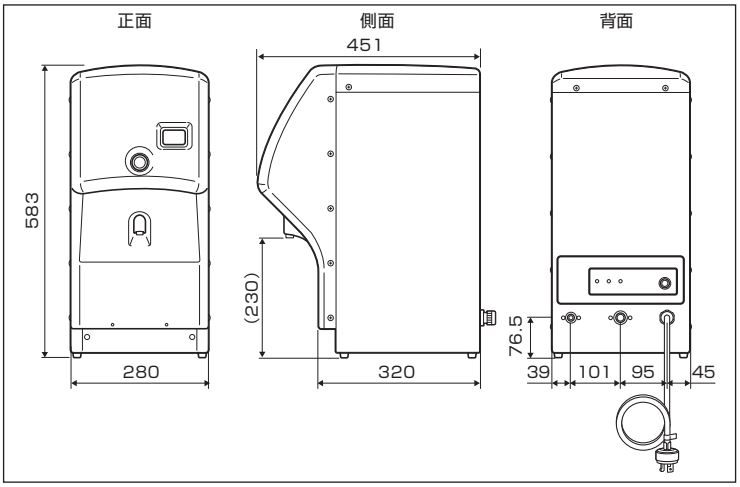
品番	CH22-1	CH22-2	CH22-3	CH22-4
製品名称	調乳用温水器CH22-1	調乳用温水器CH22-2	調乳用温水器CH22-3	調乳用温水器CH22-4
寸法	W325×D527×H1,398 mm		W900×D619×H1,398 mm	
質量	37kg	39kg	67kg	
材質	■調乳用台/扉：化粧繊維板（オレフィン） ：化粧繊維板（低圧メラミン） ：化粧合板（ポリエステル）		■カウンタートップ：化粧合板（高圧メラミン） ■キャビネット本体：化粧合板（ポリエステル） ■扉：化粧繊維板（低圧メラミン）	
浄水器	なし	あり		
シンク/温水器配置	シンクなし	シンクなし	シンク左/温水器右配置	シンク右/温水器左配置
耐用年数	7年（メンテナンス・消耗部品を除く） ※正しく点検・整備を実施された上の耐用年数となります。耐用年数を経過しましたら、お取り替えをお願い致します。			

● 給水温度5～40℃（凍結しないこと）浄水器や湯槽の破裂や部品の破損による事故が発生します。
● 湿度10～60%（結露しないこと）

■温水器仕様

製品名	調乳用温水器CH22シリーズ	ヒーター容量	1.5kw
製品寸法	W280×D451×H583mm	沸き上がり時間（水温15℃）	50分程度
貯水量	14リットル	運転質量	約25kg
電圧	単相100V	材質	■温水器表面材：鋼、ABS樹脂 ■湯槽：ステンレス鋼

●温水器本体寸法図



●コンセント差込口

■推奨部品メーカー・品番
引掛露出コンセント
松下電工：WK2520（B／W）
もしくは
引掛埋込コンセント
松下電工：WF2520（B／W）

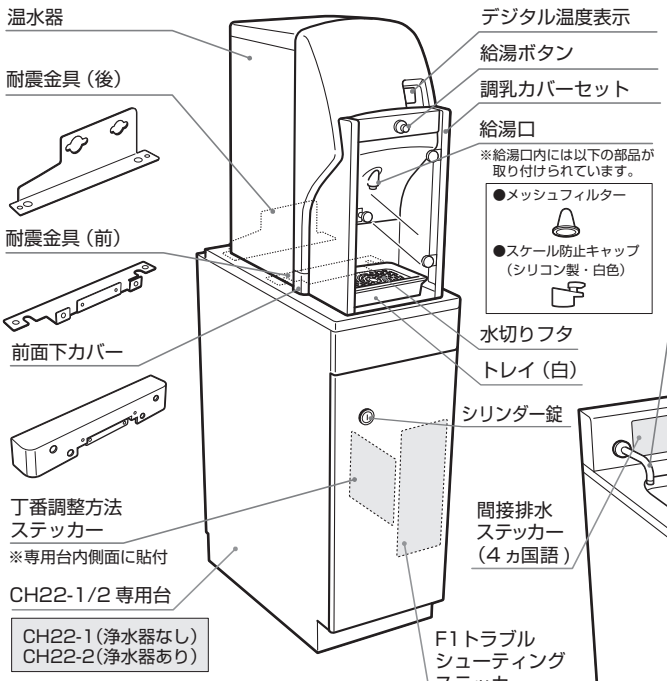
■浄水器仕様

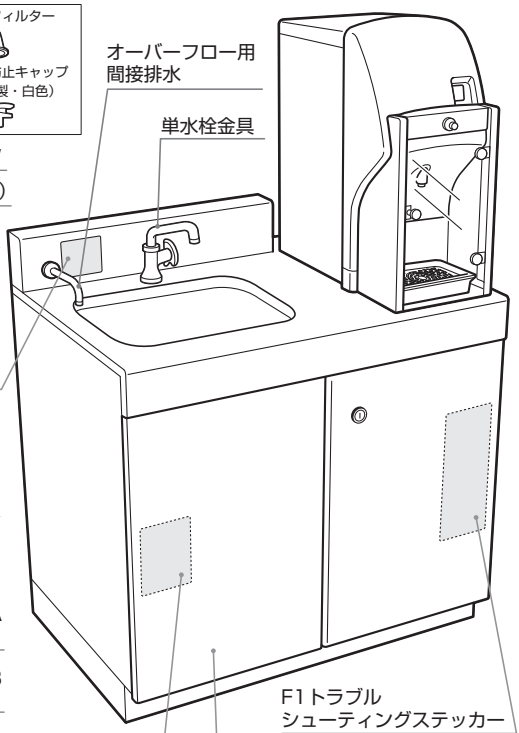
種類		Ⅰ形
ハウジング外形寸法		φ104×303mm
ろ過流量(L/分)		4.0
ろ材	プレフィルター	不織布
	中間フィルター1	ヤシガラ粒状活性炭
	中間フィルター2	特殊繊維状活性炭(イオン交換繊維配合)
	最終フィルター	中空糸膜(孔径0.15μm)
遊離残留塩素ろ過能力 (試料水濃度：2mg/L)		100,000L(除去率80%以上)
濁りろ過能力 (試料水濁度：2度時)		20,000L
総トリハロメタンろ過能力		25,000L
CAT(シマジン)ろ過能力		100,000L
溶解性鉛ろ過能力		20,000L
2-MIB(カビ臭)ろ過能力		30,000L
テトラクロロエチレンろ過能力		100,000L
トリクロロエチレンろ過能力		100,000L
1-1-1トリクロロエチレンろ過能力		20,000L
使用可能水圧		0.1～0.5MPa(浄水器単体では0.1～0.75MPa)
耐圧性		1.75MPa(17.8kgf/cm^2)×1分間
重量(満水時)		1.8kg(3.5kg)
ろ材使用限界		12ヵ月以内
配管接続口径		G1/2
試験方法		各ろ過能力はJIS S 3201家庭用浄水器試験方法に基づく試験結果

※製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
※当社は環境ISO14001に基づいた環境配慮を行っております。製品を廃棄される場合は、廃棄物処理法に基づき適正な廃棄をお願いいたします。

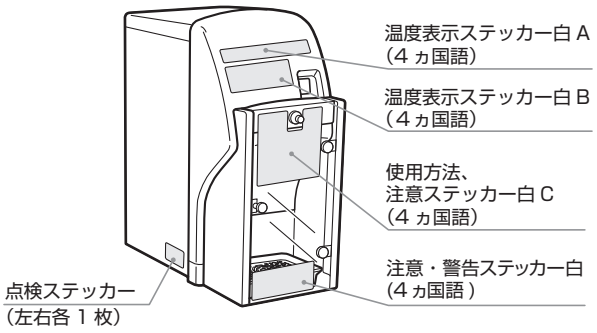
5 各部のなまえ

※温水器は全機種共通です。
温水器各部の名称は、左図を参照してください。
温水器に貼付されたステッカーについては下図の「ステッカー類の名称」を参照してください。

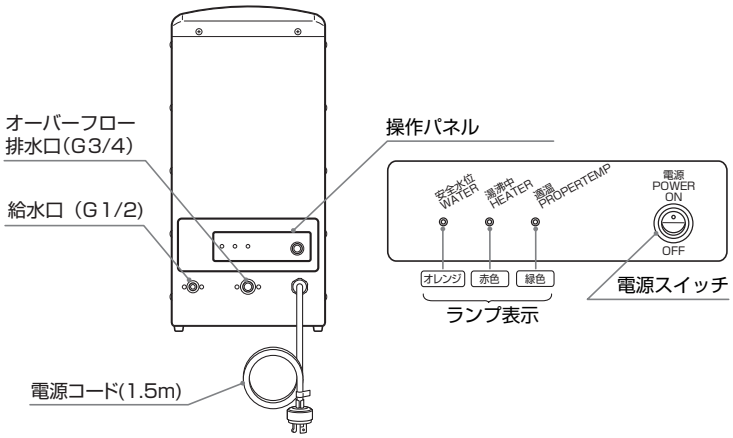


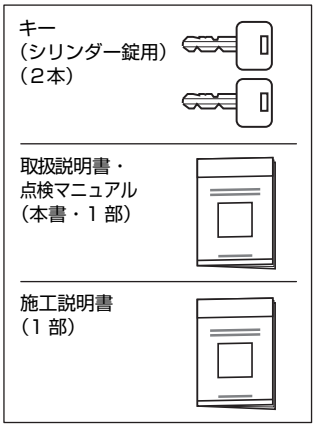


■ステッカー類の名称



■温水器背面の名称

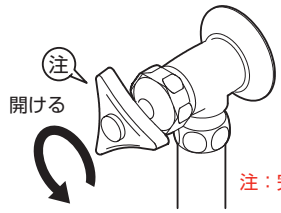




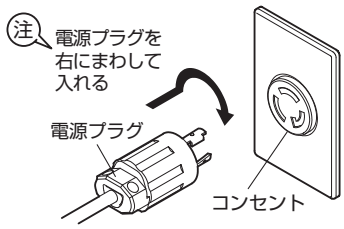
6 ご使用方法

ご使用準備

1 止水栓を開ける。



2 電源を入れる。



警告

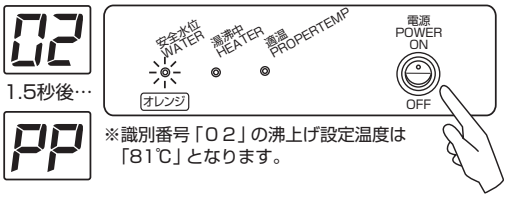
ブレーカーは確実に押し上げてください。プラグもコンセントに確実に差し込んでください。
※火災のおそれがあります。また、水で濡れた手で操作すると感電するおそれがあります。

3 電源スイッチを入れる。

※ランプ表示（背面）の☼は点滅、☼は点灯を示しています。

電源スイッチを「ON」にすると、識別番号（設定温度）を1.5秒デジタル表示した後、湯槽内に給水が始まります。

デジタル表示（前面）
…1.5秒間「02」と表示します。
デジタル表示（前面）
…「PP」と表示します。
ランプ表示（背面）
…安全水位ランプが点滅します。

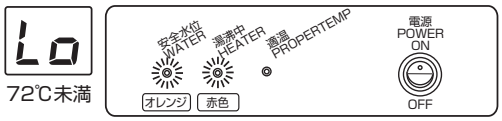


※識別番号「02」の沸上げ設定温度は「81℃」となります。

4 運転開始の確認。

運転を開始します。

デジタル表示（前面）
…「Lo」と表示します。
ランプ表示（背面）
…「安全水位ランプ」が点灯に変わり、湯沸中ランプが点灯します。



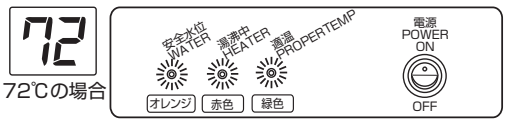
注意

10分経過しても安全水位ランプが点灯しないときは、P.10をご覧ください。

5 適温表示の確認。

湯が72℃以上になります。

デジタル表示（前面）
… 湯温を表示します。
ランプ表示（背面）
… 適温ランプが点灯します。



ご使用方法

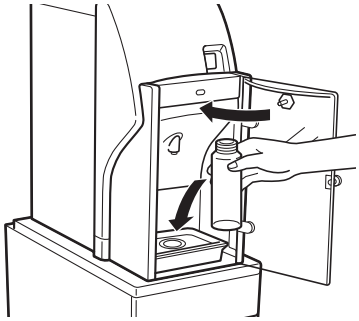
⚠ 警 告

- ●熱湯が出るため、やけどに注意してください。
- ●温水器本体の引き倒しなどに注意してください。

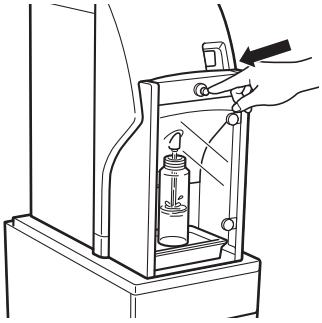
⚠ 注 意

- ●温度表示は、72℃になるまでは、「Lo」と表示されます。
- ●72℃～81℃の温度が表示されている状態でご使用ください。
- ●70℃以上で調乳のこと（2007年WHO、FAO、厚生労働省告示対応）
- ●必ずトレイ、水切りフタを設置してご使用ください。
- ●トレイにミルクを捨てないでください。
- ●ご使用後は扉を閉めてください。

1 トレイの赤い◎の中心に哺乳瓶を置き、扉を閉める。



2 給湯ボタンを押し、お湯を注ぐ。



3 タオルなど当て布を使用して哺乳瓶を取り出す。

運転状態の表示

※ランプ表示（背面）の☼は点滅、☀は点灯を示しています。

水位不足

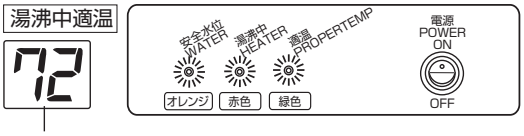
※水を継ぎ足している状態です。

湯沸中適温以下

72℃未満

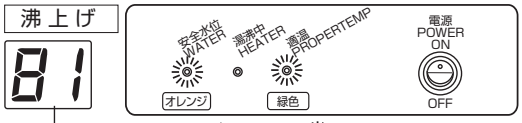
※お湯を出すと、一時的にこの表示になることがあります。
その場合、温度表示に切り替わるまで数分間おまちください。

湯沸中適温



※72℃～81℃の範囲で温度を表示します。
温度表示中は調乳適温です。湯は 81℃まで沸かしあげます。

沸 上 げ



☼は点滅、☀は点灯を示しています。

※72℃～81℃の範囲で温度を表示します。

※水温が低い場合は、沸くまでに時間がかかることがあります。

調乳適温は、70℃以上です

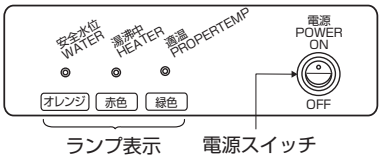
平成19年6月6日、社団法人日本乳業協会より、「『乳児用調製粉乳の安全な調乳、保存及び取り扱いに関するガイドライン（WHO世界保健機関/FAO国連食糧農業機関共同制作）』を基本とする調乳温度に関する表示の自主的ガイドライン」より。

故障と思われる前に

●故障かな？と思っても、実際には製品の故障ではないことがありますので、修理を依頼される前に次の表を参考にしてチェックしてください。

■デジタル表示・ランプ表示一覧

温水器は各種の故障診断機能を備えています。
故障や問題が発生したときは前面のデジタル表示と背面のランプ表示でエラーを表示します。エラー（下表のE0～E6）が表示されたときは、エラー表示を確認後、まず背面の電源スイッチを切ってください。



表示の状況				内　容	点検事項・原因・処理の方法
デジタル表示（前面）	ランプ表示（背面）				
	橙	赤	緑		
72～81	○	－	○	温度表示	通常表示です。
02	－	－	－	初期動作時の通常一時表示	通常表示です。初期立ち上げ時のみ一時的に表示されます。
PP	◎	－	－	初期給水（安全水位までの給水）	安全水位まで給水されれば通常表示になります。
Lo	○	○	－	湯温が72℃以下	72℃以上に沸き上がれば通常表示になります。
E0	○	◎	－	過昇温検出（設定温度より温度が高くなった）	ヒーター用リレーの異常 →電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E1	◎	－	◎	給水異常	湯槽内下部水位センサーにスケールが付着している可能性があります。 →電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E2	○	－	◎	温度センサー異常	センサー交換か接続コネクタ交換が必要です。 →電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E3	○	－	－	沸かし上げ不可	ヒーター異常 →電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E4＋温度	－	◎	◎	オーバーフロー	上部センサーにスケールが付着している可能性があります。もしくは自動給水弁の故障です。 →機器への給水元栓を締め、電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E5	◎	◎	◎	温度測定エラー	マイコンの温度読み込み異常 →1度電源を切り、再度電源を入れるとなおります。直らない場合は、電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E6	◎	◎	－	給水異常（断水）	温水器に水が供給されていません →運転停止後、給水されたのを確認した後、運転を再開させてください。

◎ 点滅　○ 点灯　－ 消灯

その他の不具合

ご注意）貯湯式のため、運転開始から沸かし上げには約50分程度の時間がかかります。また、出湯能力以上のお湯は一度に供給できません。

状　況	点検事項	処理方法
電源スイッチを押してもランプ表示（背面）やデジタル表示（前面）が点灯しない。	①ブレーカーがOFFになっていませんか？ ②電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？ ③電圧は正常ですか？	①ブレーカーをONにしてください。 ②プラグを確実に差し込んでください。 ③電圧を誤るとコントローラーが破壊され、一切表示されなくなります。 →サービスセンターへご相談ください。
湯の出方が悪い。	①止水栓は全開になっていますか？ ②メッシュフィルターにスケールが付着していませんか？	①全開にしないと十分な流量は得られません。 ②メッシュフィルターを交換してください。
給水時、温水器本体及び配管に振動音がする。	給水管に長いフレキ管を使用したり、配管固定をしていないことはありませんか？	配管を固定していないと「ウォーターハンマー現象」が起き、振動音が出ることがありますので固定してください。
湯が臭い。 湯が汚れている。	新設後で槽内に配管時の油や接着剤が残っていませんか？	新設時は配管工事の際の油などが流入することがありますので、給湯ボタンを押し続け、湯槽内の湯を数回入れ替えてください。
漏水している。	①オーバーフロー管からですか？ ②配管接続部からですか？	①上表「デジタル表示・ランプ表示」のE4をご参照ください。 ②締め直してください。

調乳用温水器CH22
点検マニュアル

「調乳用温水器CH22-1/2/3/4」の点検サービス（有料）について

「調乳用温水器CH22シリーズ」を安全に長期間ご使用いただくために、点検サービスをご用意しております。
導入後１年ごとに行っていただく**＜フィルター交換＞**、２年ごとの**＜フィルター交換＋温水器本体の点検＞**がございます。詳しくは、サービスセンターへお問い合わせください。

『コンビ調乳用温水器CH22』を快適に、また安全にご利用いただくために必要な「日常点検」「定期点検」の内容を記載したマニュアルです。
本書の内容に従い、毎日もしくは週ごとの「日常点検」、１年ごと、２年ごとの「定期点検」を必ず正しく実施してください。

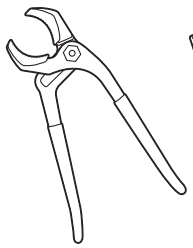
⚠警告
- 製品を安全に使用していただくために、日常点検と1年ごと、2年ごとの定期点検をお願いします。点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
- 電気類の点検は感電の危険性も伴うため、必ず絶縁手袋を使用し、また、ヤケドに注意して実施してください。

日常点検	日常点検は目視・触感で行います。工具は使用しません。	**毎日または週ごと**
1年定期点検	工具を使用して１年に１回を目安に定期的に点検を行います。	**1年1回**
2年定期点検	工具を使用して２年に１回を目安に定期的に点検を行います。	**2年1回**

点検の結果、部品交換が必要な場合があります。　※補修部品の保管期間は生産終了後５年間です。

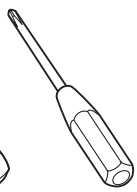
必要工具

※製品によっては使用する工具が異なります。また専用工具が必要な製品もあります。

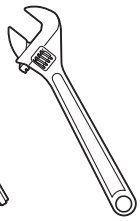

ウォーターポンププライヤー

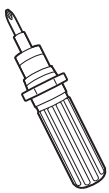
ラジオペンチ

マイナスドライバー


プラスドライバー（ビットNo.2）

薄型ラチェット（プラスビットNo.2）


モンキーレンチ

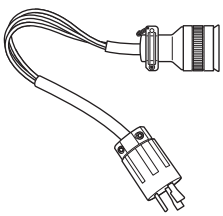

トルクドライバー（プラスビットNo.2）

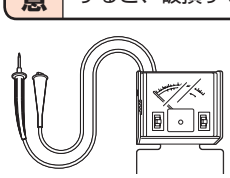
ナイロンタワシ

主な測定専用器具

⚠警告　指定以外の部品・工具は使用しないでください。

⚠注意　ねじの締め付けは、必ず手動で行ってください。電動ドライバーなどを使用すると、破損する場合があります。


運転電流測定用プラグ


絶縁抵抗計

絶縁手袋

クランプテスター

点検日の記入

定期点検後、本書記載のチェックシートと温水器本体側面に貼付の『点検ステッカー』に点検日をご記入ください。
また、点検ステッカー追加のご注文は、弊社サービスセンターにて承ります。（有償）

製品を安全にご使用いただくために日常点検と1年ごとの定期点検をお願いします。

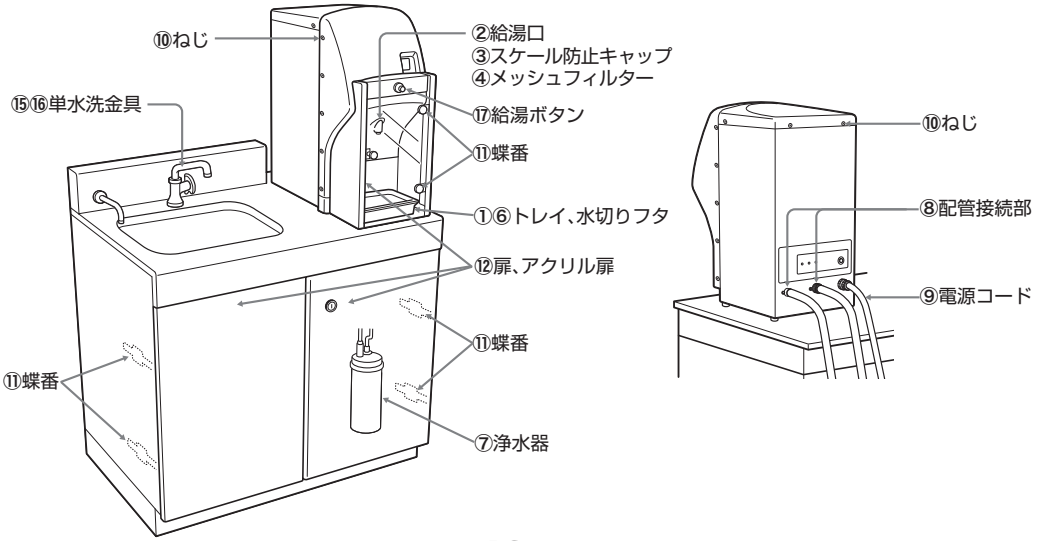
販売元
コンビウィズ株式会社
サービスセンター
TEL：03-5806-4621
（受付時間）
祝祭日を除く月～金
10：00～17：00

338456090　0706(1)

点検年月日			点検者
年	月	日	
年	月	日	
年	月	日	
年	月	日	
年	月	日	
年	月	日	
年	月	日	

1 日常点検

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
①トレイの設置確認	目視	トレイ、水切りフタが正しい位置に設置されていること	トレイ、水切りフタの正しい設置
②給湯口の清掃	目視	汚れ、スケール、水の付着がなく、清潔を保つこと	スケール防止キャップをはずし、清潔な乾いた布でふく
③スケール防止キャップ	目視	スケール防止キャップのはずれ、汚れ、破損のないこと	スケール防止キャップの設置、破損は交換
④メッシュフィルターの清掃	目視	フィルター目詰まりがないこと	交換
⑤捨て水（温水器）	毎朝使う前に捨て水	—	200cc程度の湯を捨て水する
⑤捨て水（付属水栓）CH22-3/4のみ	毎朝使う前に捨て水	—	CH-22-1は、約3分間（約10リットル）CH22-3/4は、約1分間、捨て水する。（2日以上未使用の場合は、約5分間）
⑥トレイの清掃	目視	汚れ、水の付着がなく、清潔を保つこと	トレイははずして水洗い。外観部分は中性洗剤で汚れをふきとった後、水ぶき
⑦内部の浄水器表面の清掃	目視	水滴が付いていないこと	ふき清掃
⑧漏水全般についての点検	目視・触感	本体および各配管接続部に漏水のないこと	接続しなおし、部品交換
⑨コード及び接続部の点検	目視	コードが熱を持っていたり損傷していないこと、またコンセント接続部の締め付けにゆるみのないこと	交換
⑩ねじ類のつぶれ、ねじの変形など	目視・触感	十字穴などのつぶれ、ねじの変形、錆の発生がないこと	交換
⑪扉類、カバー類、丁番各ねじのゆるみやぐらつきがないこと	目視・触感	手で動かしてみてぐらつきなどの有無を確認	ねじの締めなおし、または部品交換
⑫扉類の開閉がスムースでアクリル扉はロックが確実であること	動作・目視・触感	開閉具合、締り具合の確認	交換
⑬本体（特に上部）にぐらつきがないこと	目視・触感	本体上部を揺らすようにして確認	固定金具の追加など
⑭ステッカー類のはがれなど	目視	はがれ、汚れなど	交換
⑮単水栓金具の動作確認①	動作	左右の首振りがスムーズであること	ねじの締めなおし、または部品交換
⑯単水栓金具の動作確認②	動作	水漏れなきこと	ねじの締めなおし、または部品交換
⑰給湯ボタンの確認	動作	ボタンを押して水が出ること	修理・交換



Combi

毎日または週ごと

調乳用温水器CH22 日常点検 チェックシート

このページをコピーして点検にご利用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法 動作・目視・触感	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台
①トレイの設置確認	目視							
②給湯口の清掃	目視							
③スケール防止キャップ	目視							
④メッシュフィルターの清掃	目視							
⑤捨て水（温水器）	毎朝使う前に捨て水							
⑤捨て水（付属水栓）CH22-3/4のみ	毎朝使う前に捨て水							
⑥トレイの清掃	目視							
⑦内部の浄水器表面の清掃	目視							
⑧漏水全般についての点検	目視・触感							
⑨コード及び接続部の点検	目視							
⑩ねじ類のつぶれ、ねじの変形など	目視・触感							
⑪扉類、カバー類、丁番、各ねじのゆるみやぐらつきがないこと	目視・触感							
⑫扉類の開閉がスムーズで、アクリル扉はロックが確実であること	動作・目視・触感							
⑬本体（特に上部）にぐらつきがないこと	目視・触感							
⑭ステッカー類のはがれなど	目視							
⑮単水栓金具の動作確認①	動作							
⑯単水栓金具の動作確認②	動作							
⑰給湯ボタンの確認	動作							
点検者								
承認者								

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、コンビウィズ（株）サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

2 定期点検

■1年定期点検(浄水器フィルター交換サービス：有償)

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
①浄水残留塩素濃度の測定	目視 (残留塩素濃度測定器具確認)	原水と浄水の測定結果比較にて原水よりも浄水の残留濃度が減っていること	交換
②浄水確認(味・異物)		味に異変のなきこと、及び異物のなきこと	交換
③吐水管内部の確認	目視	吐水管内部に汚れのなきこと	清掃 ※吐水管内部ブラッシング整流板清浄(アルコール消毒)
④吐水口周辺の確認	目視	吐水口周辺に汚れのなきこと	清掃 ※吐水口周辺ブラッシング整流板清浄(アルコール消毒)
⑤吐水口周辺の確認	目視	吐水口周辺に汚れのなきこと	清掃 ※吐水口周辺ブラッシング(水道水、通水)

■1年定期交換部品(消耗部品)

①浄水器フィルターの交換　　(P28参照)

■2年定期点検(浄水器フィルター＋温水器点検交換サービス：有償)

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
①温水器給湯口の確認	目視	スケールのなきこと	清掃 ※スケール除去
②温水器湯槽内の確認	目視	スケールのなきこと	清掃 ※スケール除去
③ヒーターの確認	目視	スケールのなきこと	清掃 ※スケール除去
④水位センサー(上部、下部)、温度センサーの確認	目視	スケールのなきこと	清掃 ※スケール除去
⑤絶縁抵抗測定	測定	2MΩ以上	修理
⑥コネクタ結線の緩みや抜け無しの確認	触感	抜けや緩みのないこと	修理・交換
⑦各部の配線 接続部の増締め 締め付け確認	触感	接続部の抜け、緩みのないこと	修理・交換
⑧アース線結線接続部の増締め、締め付け確認	触感	接続部の抜け、緩みのないこと	修理・交換
⑨給水バルブ	目視・動作	動作すること	修理・交換
⑩水位センサー(上部・下部)	目視・動作	動作すること	修理・交換
⑪前面デジタル表示、背面操作パネルの表示確認	目視・動作	動作すること	修理・交換
⑫給湯バルブ	目視・動作	動作すること	修理・交換
⑬本体カバー、調乳カバーセットの確認	目視	汚れ，破損のなきこと	清掃・交換

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
⑭運転電流測定	測定	定格15A±10%	容量不足 （施設に連絡）
⑮温水器の転倒防止対策	目視・触感	設置台への固定がしっかりされていること	修理・交換
⑯設置台の転倒防止対策	目視・触感	床・壁隣接什器等への固定がしっかりされていること	修理・交換

■2年定期交換部品（消耗部品）

①オーバーフロー管Oリングの交換　（P22参照）
②給水管パッキン交換　（P23参照）
　排水管パッキン交換　（P23参照）
③中フタシリコンチューブ交換　（P23参照）

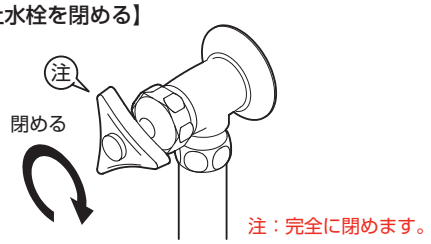
定期点検手順

1 カギの準備、作業場所の養生。

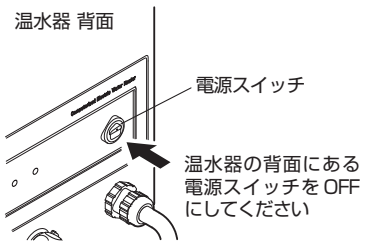
キャビネットのカギを管理者から受け取り、作業場所を養生してください。
調乳台に水が付着していると危険ですので、点検前に調乳台の水をふき取ってください。

2 給水管の止水栓を閉め、温水器背面の電源スイッチ（赤色）をOFFとし、電源プラグを抜く。

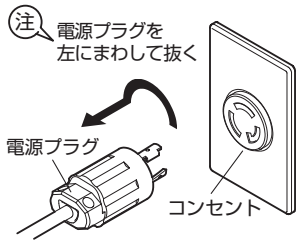
【止水栓を閉める】



【電源スイッチをOFF】



【電源プラグを抜く】



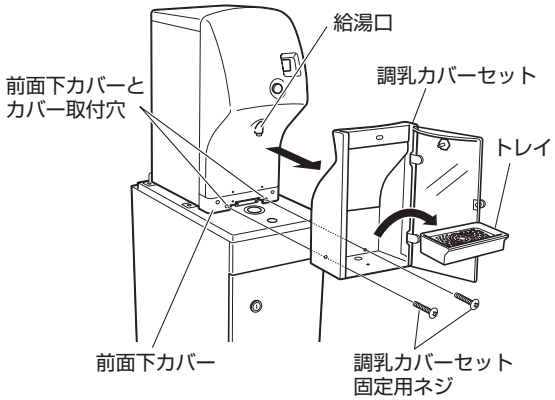
警告 絶対に濡れた手で触らないでください。

3 前面下カバーと調乳カバーセット、トレイを取りはずす。

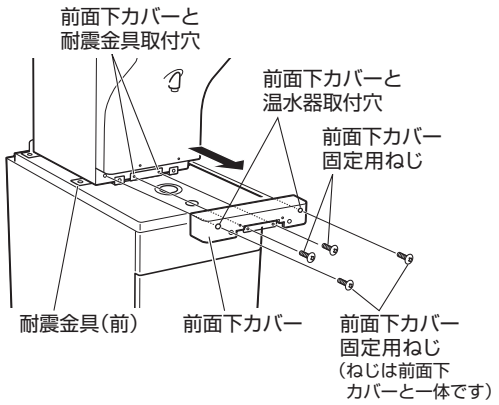
取りはずした前面下カバーと調乳カバーセット、トレイは破損防止のため落下するおそれのない場所へ保管してください。

●2年定期点検項目①
「温水器給湯口の確認」(P.14参照)

【トレイと調乳カバーセットを取りはずす】



【前面下カバーを取りはずす】

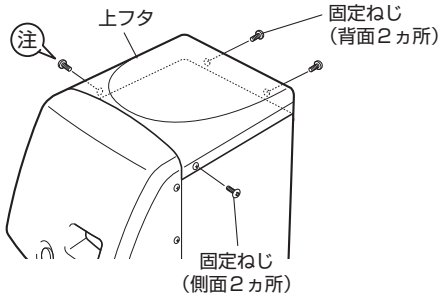


定期点検手順

4 上フタを取りはずす。

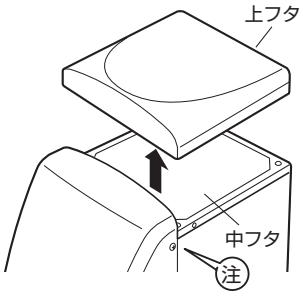
上フタを固定しているねじ（側面、背面各２ヵ所）を取りはずし、上に引き上げてはずします。
取りはずしたねじを紛失しないよう保管してください。
※壁が近接している場合は、薄型ラチェットを使用してください。

【上フタ固定ねじをはずす】



注：固定ねじをなくさないでください。

【上フタをはずす】



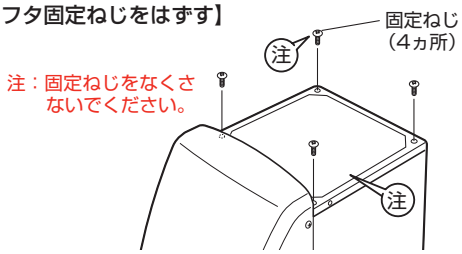
注：引掛けによるケガに注意してください。

5 中フタを取りはずす。

中フタを固定しているねじ（4 ヵ所）を取りはずし、上に引き上げてはずします。（※注意を参照）
中フタについているシリコンチューブは消耗部品ですので新品に交換してください。

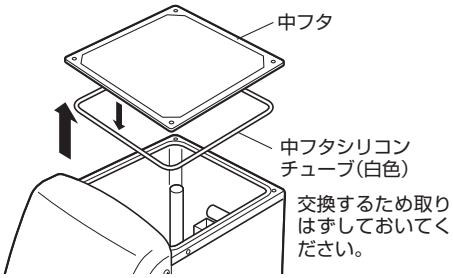
⚠注意
- ●中フタは熱くなっていますので取りはずしには注意してください。
- ●湯槽内には高温のお湯が貯まっています。
- ●湯槽内からは湯気が出ますので注意してください。

【中フタ固定ねじをはずす】

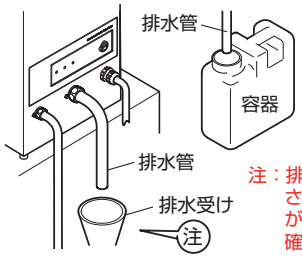


注：湯槽内のお湯を十分に冷ましてから作業を行ってください。

【中フタを取りはずす】



【排水受けを確認・用意する】



注：排水はいったん開始させると、止めることができませんので必ず確認してください。

6 湯槽内の湯を排出させる。

❶ 湯槽内に接続されているオーバーフロー管からは湯槽内の湯が排出されます。
適当な容器などで受けるなどの措置を講じてください。（※注意を参照）

❷ 湯槽内の湯は高温です。設備側の配管保護のため水で温度を下げながら排出させます。
（※注意を参照）

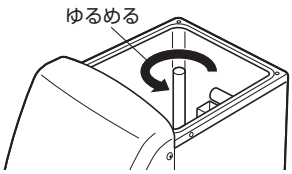
❸ ウォーターポンププライヤーでオーバーフロー管の上ふちを持ち、反時計回りに回してください。
❹ 湯の排出が完全に終了した後に設備側給水管・排水管(フレキ管など) を取りはずしてください。
❺ 温水器給水口・排水口内のフィルターは清掃してください。
❻ 湯槽内オーバーフロー管についているOリングは消耗部品ですので新品に交換してください。

⚠注意

- ●排水は一旦開始させると止めることができませんので、容器に確実に排水されることを確認してください。
- ●湯気で火災報知器などが作動しないような状態とし排水を行ってください。
- ●設備側の排水管(フレキ管など)は排水中は高温となりますのでご注意ください。

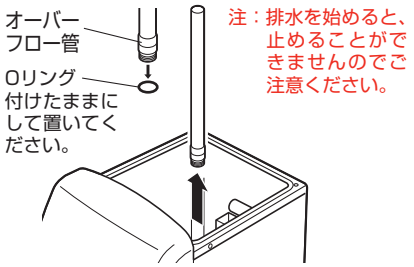
【オーバーフロー管を取りはずす】

締め込みがかたく、ゆるみにくい場合には、いったん工具(ウォーターポンププライヤー)でオーバーフロー管を軽くまわした後、手でゆるめてください。



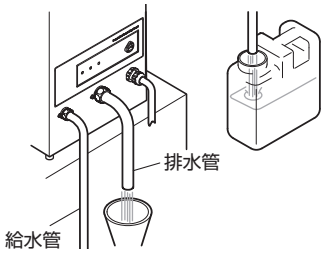
【排水の開始】

オーバーフロー管を引き抜くと排水が開始されます。



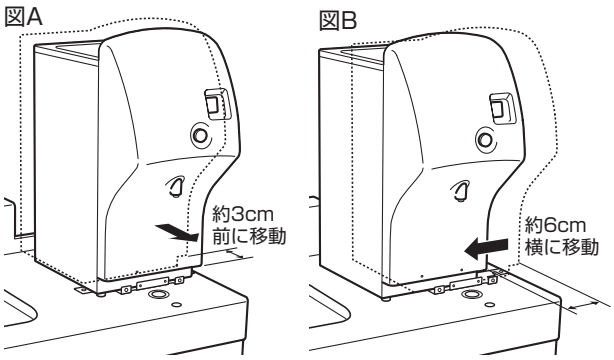
【排水の確認】

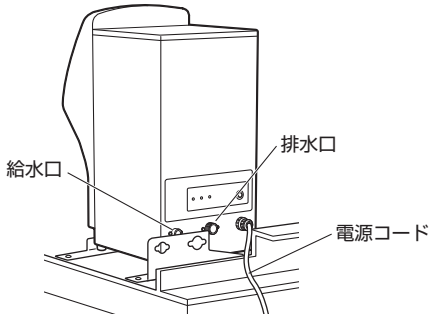
排水中は水が外部へあふれないよう、確認しながら行ってください。



7 温水器を横に移動させる。

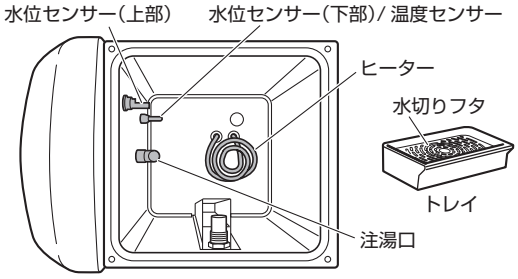
❶ 温水器を持ち上げ、図Aのように前に引き出し移動させます。
❷ 次に、図Bのように横へスライドさせます。その際、背面の給水口、排水口、電源コードも注意して移動させてください。





8 ナイロンたわしで清掃を行う。

❶ 湯槽内の清掃を行ってください。
●2年定期点検項目②「温水器湯槽内の確認」(P.14参照)
❷ ヒーターの清掃を行ってください。
●2年定期点検項目③「ヒーターの確認」(P.14参照)
❸ 水位センサー(上部、下部)と温度センサーの清掃を行ってください。
●2年定期点検項目④
「水位センサー、温度センサーの確認」(P.14参照)
❹ 注湯口の清掃を行ってください。
❺ トレイ、水切りフタの清掃を行ってください。
❻ 清掃後は水ですすぎ、清浄化していることを確認してください。



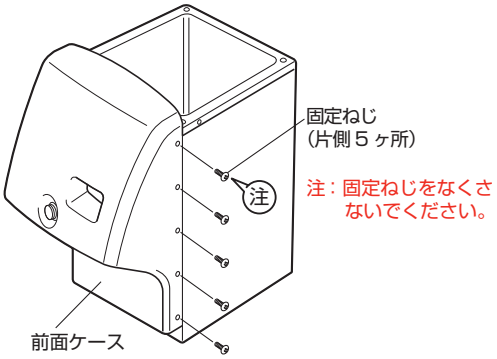
定期点検手順

9 前面ケースを取りはずす。

❶ 前面ケースを固定しているねじを左右5 ヵ所づつ、計10 ヵ所を取りはずします。

※取りはずしたねじは紛失しないよう保管してください。

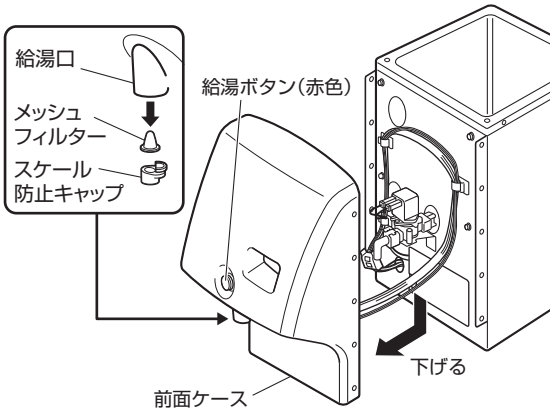
【前面ケース固定ねじをはずす】



❷ 前面ケースを取りはずします。

1)スケール防止キャップを取りはずします。
2)給湯口が見えなくなる程度に前面ケースのみを押し下げます。(約 10mm程度)
3)前面ケースを手前方向に引き出します。その際、コードをコードロックから取りはずしてください。手前方向に引き出し、床に置きます。
4)LED温度表示部に繋がっている配線は繋がったままとしておいてください。

【前面ケースを取りはずす】

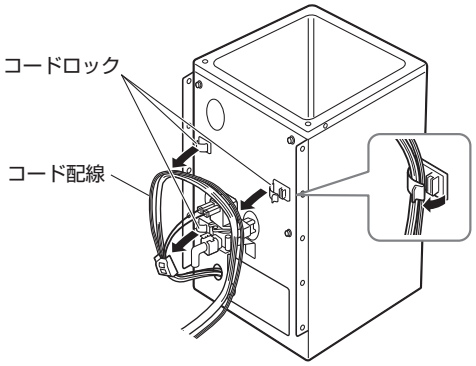


⚠注意

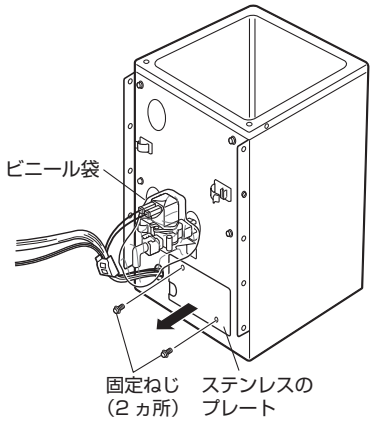
- ●前面ケースと湯槽は「LED表示部の配線」と「電源スイッチの配線」が繋がっています。
- ●前面ケースを強く引っぱり過ぎないでください。無理に引っぱるとコードが切れるため、はずす際には、注意してはずしてください。
- ●電気部品に水をかけないでください。

10 ヒーターの絶縁抵抗を測定する。

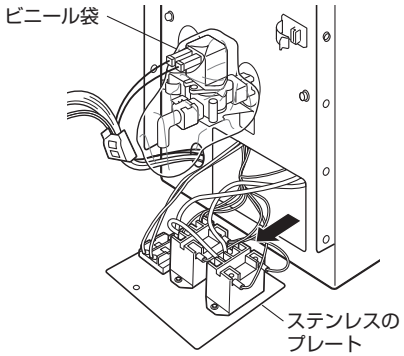
❶ コード配線を取りはずします。



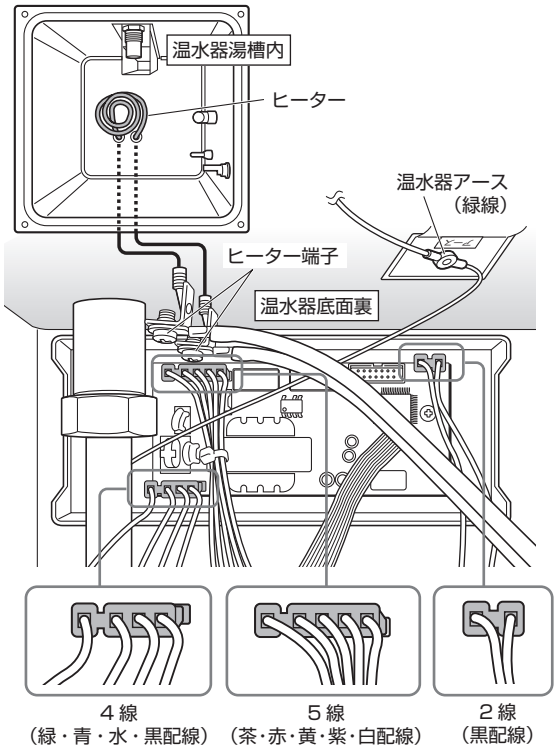
❷ 給水バルブをビニール袋などで覆います。(※バルブからの水が配線にかかるのを防ぐため。)
ステンレスのプレートのねじ2 ヵ所をはずします。



❸ プレート裏側の配線を引き出します。

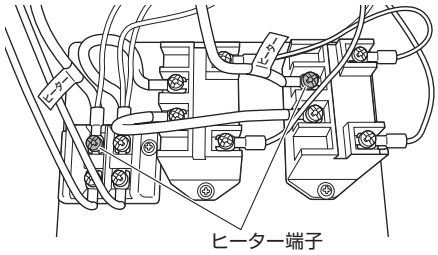


❹ 基板から2線(黒色配線)・4線(緑・青・水・黒色配線)・5線(茶・赤・黄・紫・白配線)の3種類のコネクタをはずしてください。

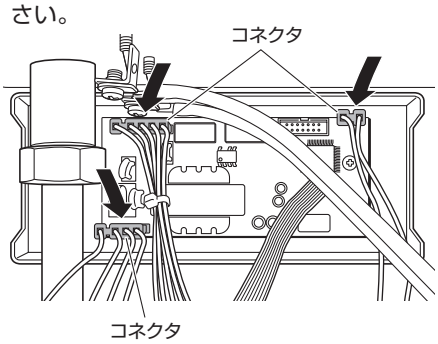


❺ 端子台のヒーター端子をドライバーではずし、絶縁抵抗計を使用して、端子台のヒーター端子と温水器アースの絶縁抵抗を測定してください。

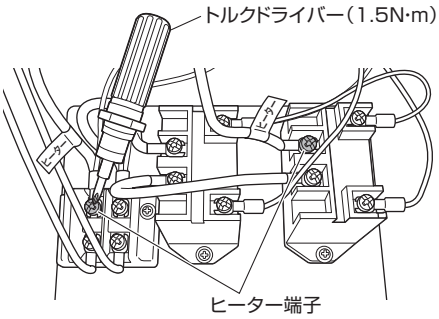
● 2年定期点検項目⑤「絶縁抵抗測定」(P.14参照)



❻ 絶縁抵抗測定終了後は基板に接続されていた❹の3種類のコネクタを元にもどしてください。



❼ ヒーター端子を戻します。ヒーター端子の締め付けには1.5N・mトルクドライバーを使用してください。(※注意を参照)



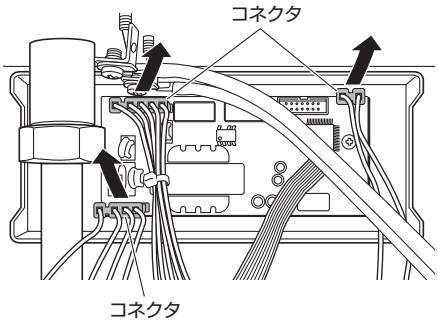
【参考資料】電装接続部の締め付けトルク一覧表

ねじの種類	トルク(N・m)
M3	0.63
M4	1.50
M5	3.00
M6	5.20
M8	12.50

11 電装部品の点検を行う。

❶ 各コネクタを軽く引っぱり、緩みや抜けのないことを確認してください。

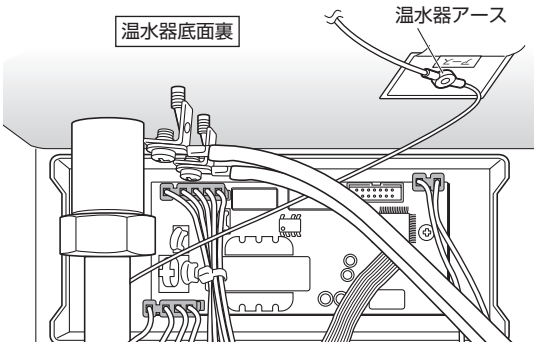
● 2年定期点検項目⑥
「コネクター結線の緩みや抜け無しの確認」
(P.14参照)



定期点検手順

❷ 各部のファストン端子や配線を軽く引っぱるなどして、緩みや抜けのないことを確認してください。

● 2年定期点検項目⑦
「各部の配線、接続部の増し締め
締め付け確認」(P.14参照)



❸ 温水器アースは確実に締め込まれていることを確認してください。

● 2年定期点検項目⑧
「アース線結線接続部の増し締め、締め付け確認」(P.14参照)

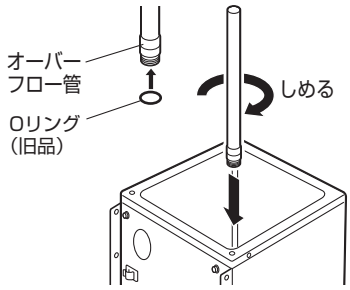
❹ 電源コードを含めた配線全般にキズ、変色などがないことを確認してください。

❺ 上記❶～❹の確認を終えたら、ステンレスのプレートを取り付けてください。(P.19参照)

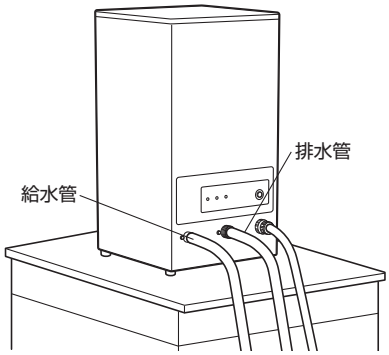
❻ 給水バルブのビニール袋をはずしてください。

12 湯槽への水張りを行う。

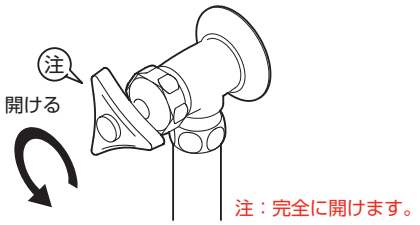
❶ 湯槽内のオーバーフロー管を時計回りにねじ込んでください。(※Oリングは古いものを使ってください)



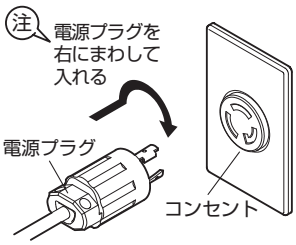
❷ 温水器背面に接続されていた排水管と給水管を仮復旧させてください。



❸ 給水管の止水栓(設備側)を開けてください。



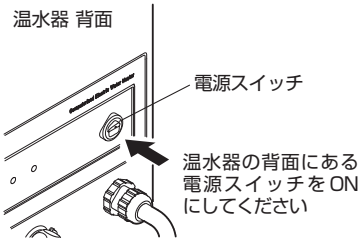
❹ 電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。



⚠ 警告 絶対に濡れた手で触らないでください。

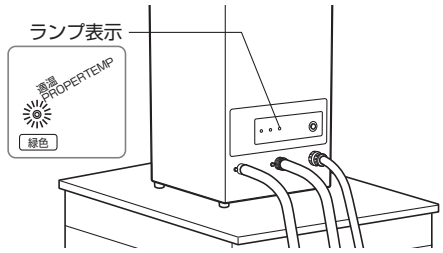
❺ 電源スイッチ(赤色)をONにしてください。
温水器への給水が開始されます。

● 2年定期点検項目⑨「給水バルブ」(P.14参照)
給水バルブが動作していることを確認してください。

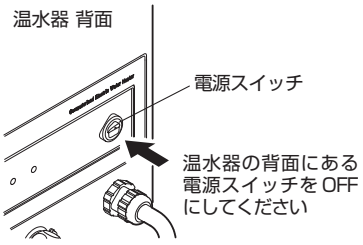


❻ 電源が入ると、最初に02が表示され、すぐにPP表示に変わり、安全水位まで給水されるとLo表示になります。(02→PP→Lo表示)

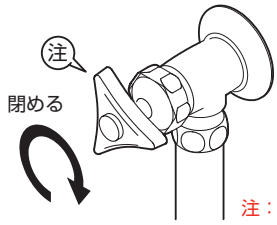
- 2年定期点検項目⑩
「水位センサー(下部)」(P.14参照)
- 2年定期点検項目⑪
「前面デジタル表示、背面操作パネルの表示確認」(P.14参照)
- 2年定期点検項目⑫「給湯バルブ」(P.14参照)
給湯ボタンを押して、水が出ることを確認してください。
コップや受け皿などを用意し、給湯ボタンを押して、水が出ることを確認してください。



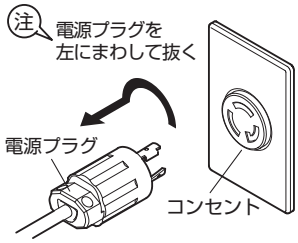
❼ 電源スイッチ(赤色)をOFFにしてください。



❽ 給水管の止水栓(設備側)を閉めてください。



❾ 電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

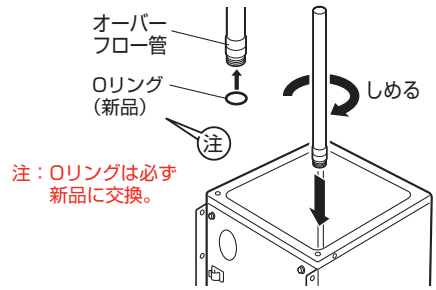


警告 絶対に濡れた手で触らないでください。

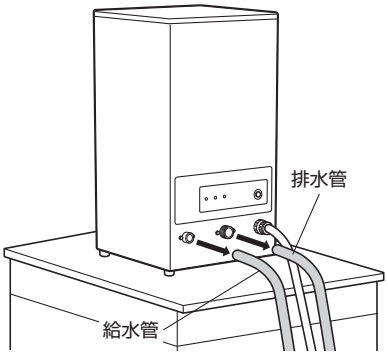
13 漏水点検を行う。

❶ 給水電磁弁など温水器給水経路の漏水有無を目視や触るなどして確認してください。(※注意を参照)
❷ 排水中継管など温水器排水経路の漏水有無を目視や触るなどして確認してください。
❸ 湯槽内底部からヒーター取り付け部の漏水有無を目視や触るなどして確認してください。
❹ 電磁弁接続部や給湯口管接続部の漏水有無を目視や触るなどして確認してください。
❺ その他各溶接部の漏水有無を目視や触るなどして確認してください。
❻ 漏水がないことを確認した後に、前項6の手順を参考に湯槽内の水を排出させてください。
❼ 湯槽内の水を排出した後にオーバーフロー管を清掃し、Oリングを新品に交換したオーバーフロー管を再度取り付けてください。

- 2年定期交換部品項目①
「オーバーフロー管Oリング交換」(P.15参照)



❽ 温水器に仮接続されている給水管と排水管を取りはずしてください。



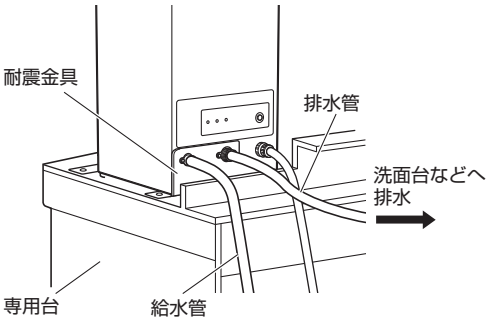
注意
- 漏水点検時は必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 漏水点検時は電装部配線を引っ掛けたりせず、注意しながら行ってください。

定期点検手順

14 温水器を耐震金具のついた専用台に戻し、温水器に接続されていた給水管と排水管を復旧する。

給水管、排水管ともパッキン類は必ず新品に交換してください。

● 2年定期交換部品項目②
「給水管・排水管交換」(P.15参照)

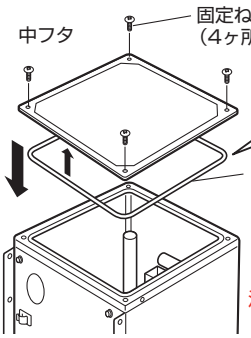


15 試運転を行う。

❶ 中フタ、上フタ、前面ケース、トレイ、カバーを復旧させてください。

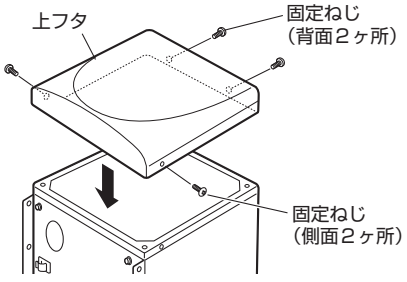
● 2年定期交換部品項目③
「中フタシリコンチューブ交換」(P.15参照)

【中フタを取り付ける】



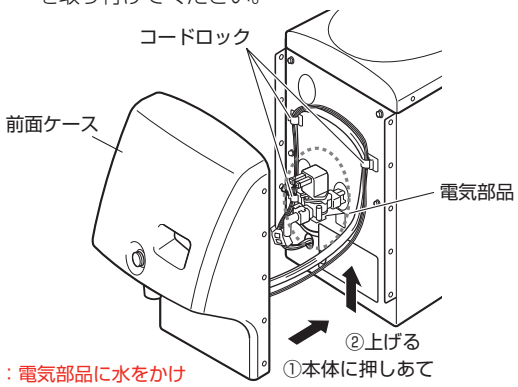
注：中フタシリコンチューブは必ず新品に交換。

【上フタを取り付ける】



【前面ケースを取り付ける】

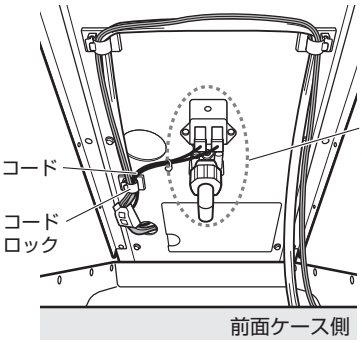
コードロックにコードをはさんでから、前面ケースを取り付けてください。



注：電気部品に水をかけないでください。

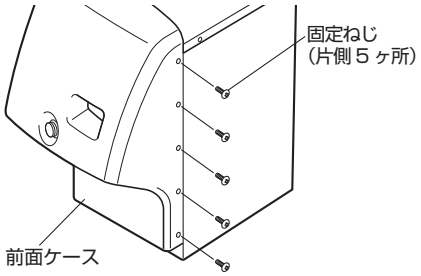
●コードを取り付けるときは

コードロックにコードをはさむ際は、電気部品にコードが触れないように取り付けてください。

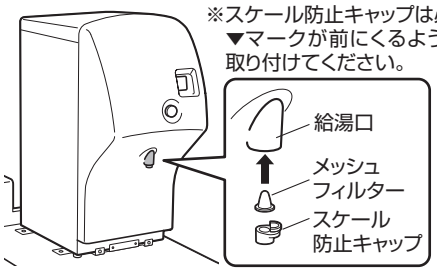


注：電気部品は少しですが熱を発生しています。コードが長期間接触していた場合は、発火のおそれがありますので、必ず電気部品に触れないように取り付けてください。

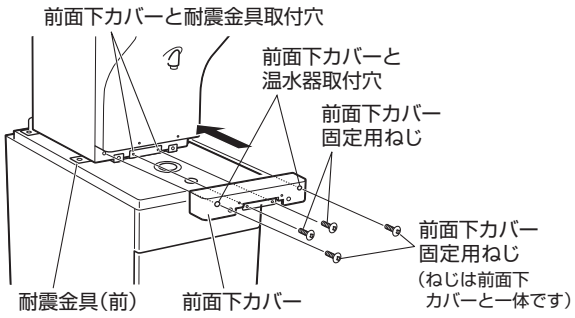
【前面ケース固定ねじを取り付ける】



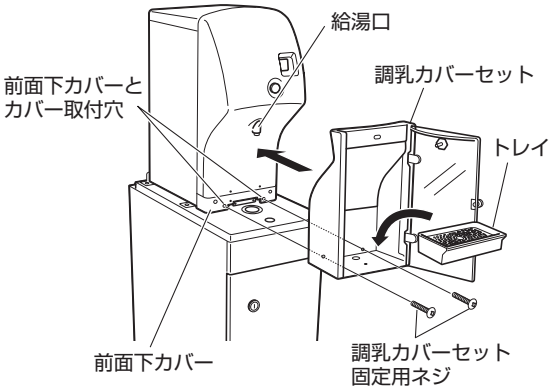
【給湯口にスケール防止キャップ、メッシュフィルターを取り付ける】



【前面下カバーを取り付ける】



【調乳カバーセット、トレイを取り付ける】



トレイは調乳カバーセット下部の穴にしっかりと差し込んでください。

● 2年定期点検項目⑬
「本体カバー・調乳カバーセットの確認」(P.14参照)

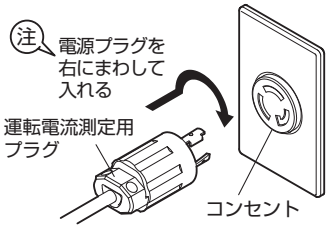
❷ 給水バルブを開けてください。

【止水栓を開ける】

注：完全に開けます。

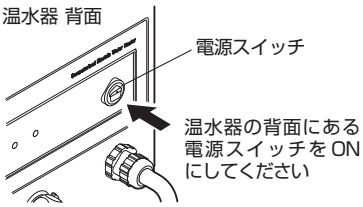
❸ 電源コンセントで電圧測定を行ってください。定格電圧100V±10%以内であることを確認してください。

❹ 電源コンセントに運転電流測定用プラグを差し込んでから電源プラグへ差し込んでください。



警告 絶対に濡れた手で触らないでください。

❺ 電源スイッチをONにしてください。



❻ 給水が下側センサー位置で止まったら電源スイッチをOFFにしてください。

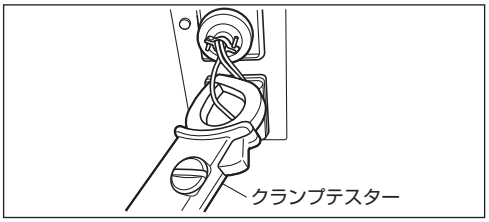
❼ 設備側オーバーフロー管から漏れなどがないことを確認してください。

❽ 漏れがないことを確認できたら、再度電源スイッチをONさせてください。

❾ 運転電流測定用プラグ部分をクランプテスターにて運転電流を測定してください。
定格電流15A±10%以内であることを確認してください。
アース線(緑色)以外の白・黒どちらか1本を測定してください。

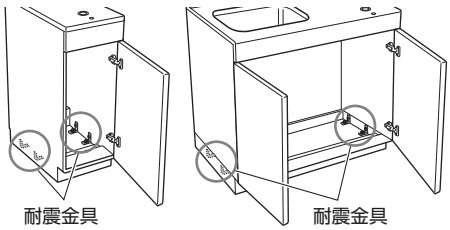
● 2年定期点検項目⑭「運転電流測定」(P.15参照)

【運転電流を測定する例】



● 2年定期点検項目⑮
「温水器の転倒防止対策」(P.15参照)
温水器の耐震金具のネジの確認及び増し締めをしてください。

● 2年定期点検項目⑯
「設置台の転倒防止対策」(P.15参照)
設置台の耐震金具のネジの確認及び増し締めをしてください。



⓫ 試運転終了後は運転電流測定用プラグをはずしてください。

以上でCH22シリーズの保守点検作業は完了です。

Combi

調乳用温水器 CH22

1年 定期点検 1年ごと チェックシート

このページをコピーして点検にご利用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法 動作・目視・触感	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台
日常点検項目						
❶トレイの設置確認	目視					
❷給湯口の清掃	目視					
❸スケール防止キャップ	目視					
❹メッシュフィルターの清掃	目視					
❺捨て水（温水器）	毎朝使う前に捨て水					
❺捨て水（付属水栓） CH22-3/4のみ	毎朝使う前に捨て水					
❻トレイの清掃	目視					
❼内部の浄水器表面の清掃	目視					
❽漏水全般についての点検	目視・触感					
❾コード及び接続部の点検	目視					
❿ねじ類のつぶれ、ねじの変形など	目視・触感					
⓫扉類、カバー類、丁番、各ねじのゆるみやぐらつきがないこと	目視・触感					
⓬扉類の開閉がスムーズで、アクリル扉はロックが確実であること	動作・目視・触感					
⓭本体（特に上部）にぐらつきがないこと	目視・触感					
⓮ステッカー類のはがれなど	目視					
⓯単水栓金具の動作確認①	動作					
⓰単水栓金具の動作確認②	動作					
⓱給湯ボタンの確認	動作					
1年定期点検項目						
①浄水残留塩素濃度の測定（mg/L）	目視（測定器具確認）					
②浄水確認（味・異物）						
③吐水管内部の確認	目視					
④吐水口周辺の確認（アルコール消毒）	目視					
⑤吐水口周辺の確認（水道水、通水）	目視					
点検者						
承認者						

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、コンビウィズ（株）サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

Combi

調乳用温水器 CH22

2年定期点検

2年ごと

チェックシート

このページをコピーして点検にご利用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法 動作・目視・触感	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台
日常点検項目						
❶トレイの設置確認	目視					
❷給湯口の清掃	目視					
❸スケール防止キャップ	目視					
❹メッシュフィルターの清掃	目視					
❺捨て水（温水器）	毎朝使う前に捨て水					
❺捨て水（付属水栓）CH22-3/4のみ	毎朝使う前に捨て水					
❻トレイの清掃	目視					
❼内部の浄水器表面の清掃	目視					
❽漏水全般についての点検	目視・触感					
❾コード及び接続部の点検	目視					
❿ねじ類のつぶれ、ねじの変形など	目視・触感					
⓫扉類、カバー類、丁番、各ねじのゆるみやぐらつきがないこと	目視・触感					
⓬扉類の開閉がスムーズで、アクリル扉はロックが確実であること	動作・目視・触感					
⓭本体（特に上部）にぐらつきがないこと	目視・触感					
⓮ステッカー類のはがれなど	目視					
⓯単水栓金具の動作確認①	動作					
⓰単水栓金具の動作確認②	動作					
⓱給湯ボタンの確認	動作					
1年定期点検項目						
①浄水残留塩素濃度の測定（mg/L）	目視（測定器具確認）					
②浄水確認（味・異物）						
③吐水管内部の確認	目視					
④吐水口周辺の確認（アルコール消毒）	目視					
⑤吐水口周辺の確認（水道水、通水）	目視					
2年定期点検項目						
①温水器給湯口の確認	目視					
②温水器湯槽内の確認	目視					
③ヒーターの確認	目視					

④水位センサー（上部、下部）、温度センサーの確認	目視					
⑤絶縁抵抗測定	測定					
⑥コネクタ結線の緩みや抜け無しの確認	触感					
⑦各部の配線、接続部の増締め 締め付け確認	触感					
⑧アース線結線接続部の増締め、締め付け確認	触感					
⑨給水バルブ	目視・動作					
⑩水位センサー（上部・下部）	目視・動作					
⑪正面デジタル表示、背面操作パネルの表示確認	目視・動作					
⑫給湯バルブ	目視・動作					
⑬本体カバー、調乳カバーセットの確認	目視					
⑭運転電流測定（A：アンペア）	測定					
⑮温水器の転倒防止対策	目視・触感					
⑯設置台の転倒防止対策	目視・触感					
点検者						
承認者						

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、コンビウィズ（株）サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

※土・日・祭日での温水器本体の緊急メンテナンスに関しては下記宛にご連絡ください。
その場合は、「コンビの調乳用温水器FIシリーズの件」とお伝えください。

■全国・関東・山梨・静岡地区 株式会社日本イトミック 〒131-0801 東京都墨田区押上1-1-2東京スカイツリータワー 24階
TEL.03-3621-2161 FAX.03-3621-2163 ← 24時間サービス体制

■北海道地区 株式会社北海道イトミック 〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒一条5-1 ラポール24軒号館
TEL.011-615-6681 FAX.011-615-7004

■東北・新潟地区 株式会社東北イトミック 〒981-3125 宮城県仙台市泉区みずほ台4-3
TEL.022-773-6161 FAX.022-773-6213

■中部・北陸地区 株式会社中部イトミック 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸ノ内1-4-12 アレックスビル3F
TEL.052-222-2561 FAX.052-222-2559

■近畿地区 日本イトミック株式会社 関西営業所 〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町3-4-7 KCビル9F
TEL.06-6226-0800 FAX.06-6226-0802

■中国・四国地区 株式会社中国イトミック 〒730-0051 広島県広島市中区大手町1-7-12 徳永ビル
TEL.082-240-1361 FAX.082-240-1363

■九州・沖縄地区 株式会社九州イトミック 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-28-5
TEL.092-481-3911 FAX.092-481-3930

調乳用温水器CH22
部品交換手順書

日常点検や定期点検で異常を発見し、新しい部品と交換する場合は、
この交換手順書をよくお読みの上、正しく交換してください。

浄水器　WP-M31 フィルターカートリッジ交換手順

●１年定期交換部品項目①　「浄水器フィルターの交換」(P.14参照)
当手順書は、『コンビ　浄水器WP-M31』専用です。製品の機能が十分発揮されますよう本説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
浄水器カートリッジの交換は、必ず下記の手順に従ってください。手順、接続を間違えますと、水漏れ、故障の原因となります。

安全上の注意

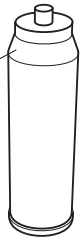
⚠注意

●交換の前に手指をよく洗って清潔にしてください。
●交換用カートリッジは、浄水器本体にセットするまで開封しないでください。先に開封すると汚れや雑菌がつく可能性があります。
●専用の浄水器カートリッジ以外は取り付けないでください。漏水や故障の原因になります。
●交換時は、浄水器内の滞留水を床や什器内にこぼさないよう受け水用の容器またはポリ袋や養生シートなどを敷いて作業を行ってください。
●フィルターを交換したときは、下記のように捨て水をしてください。行わないと、雑菌や異臭が発生し、飲用に適さない水が流出する可能性があります。捨て水後は、透明な容器に水をくみ取り「にごり、浮遊物、異臭」など、異常のないことを確認してから使用してください。
《浄水器・温水器付きシンクシリーズ(CH22-1)の場合》
使い始めに5分間以上。その後も毎朝の使いはじめに、10リットル以上、または3分間以上の捨て水をしてください。
《調乳用温水器の場合》
使いはじめに5分間以上。その後も毎朝の使いはじめに、200cc以上の捨て水をしてください。

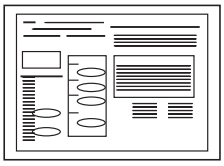
梱包内容

浄水器フィルター
（1個）

注：保護フィルムは、取り付け直前まで付けておくこと。



取扱説明書
（1部）

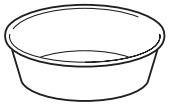


交換記録ステッカー
（1部）

使用済フィルター用ポリ袋
（1袋）

準備するもの

受け水用の容器または
ポリ袋や養生シートなど
（適宜）



水栓金具用レンチ
（適宜）

お手入れと点検の方法

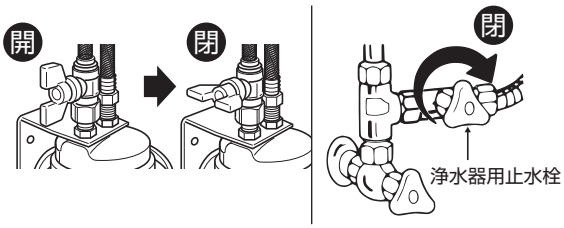
●カートリッジを交換後2 ～ 3日間は、浄水後の湯水が微細な気泡により、白くにごることがあります。これは中空糸膜フィルターが水になじむ過程で発生するもので1 ～ 2分間置くと気泡は消え透明になります。従って、この状態でも飲料水として問題はありません。
●同梱の交換記録ステッカーに交換日を記入し、浄水器本体などわかりやすい位置に貼付してご利用ください。次回のフィルター交換時期の目安となります。
●**フィルターの寿命は約1年間が目安です。1年以内には必ず新しいフィルターに交換してください。**
ただし、赤サビ水などの影響で目づまりし、水栓からの水が極端に細くなったときなどの場合は1年経過しなくても交換してください。
●月に1度は浄水器の配管接続部から水漏れがないか点検してください。
●本取扱説明書・点検マニュアルに従い、正しくお使いください。
●使用済のフィルターは、自治体などのルールに基づき処分してください。

交換方法

1 電源スイッチをOFFにする。

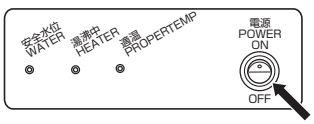
2 止水栓を閉める。

配管に対しツマミを水平にします。給水側にさらに止水栓がある場合は、それも閉めます。

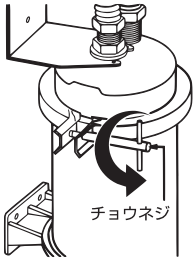


【当社浄水器温水器シンク製品/CH22-1の場合】
混合栓のレバーを操作して『開』(水が出る方向)にします。このとき水が出なくなったことを確認してください。

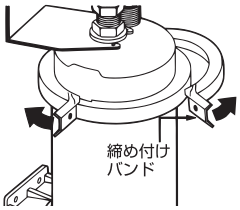
温水器の電源スイッチをOFFにしてください。



3 チョウネジをゆるめる。

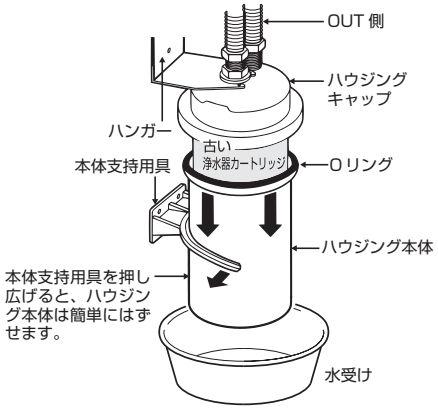


4 締め付けバンドを押しひろげ、はずす。



5 浄水器のハウジング本体を取りはずす。

●ハウジング本体をハウジングキャップから引き抜きます。Oリングもはずします。(この時、ハウジングキャップはハンガーに固定されたままです)
●交換時は、浄水器内の滞留水を床や什器内にこぼさないよう受け水用の容器またはポリ袋や養生シートなどを敷いて作業を行ってください。)



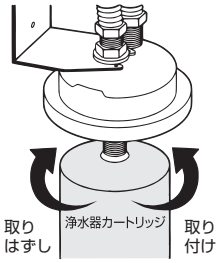
注意 浄水器カートリッジ交換作業のとき、新しい浄水器カートリッジ、特に出口側ネジ部を汚れた手などで触らないでください。

【ヘッドと胴がはずれにくい場合】
OUT側の先の止水栓との間で真空状態になってはずれにくい場合がありますので、その場合は下記のようにしてください。
●浄水器・温水器付きシンクの場合
混合栓のレバーが『開』(水が出る方向)になっているかご確認ください。
●CH22-2の場合
浄水器上部のOUT側のフレキ管を先にはずしてください。

6 新しい浄水器カートリッジに交換する。

❶ 古い浄水器カートリッジを時計まわり（右方向）にまわして取りはずします。付属のポリ袋に収納し自治体の指針に従い処分してください。

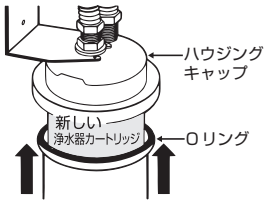
❷ 新しい浄水器カートリッジのフィルムを剥がし、逆まわし（左方向）にハウジングキャップに取り付けます。



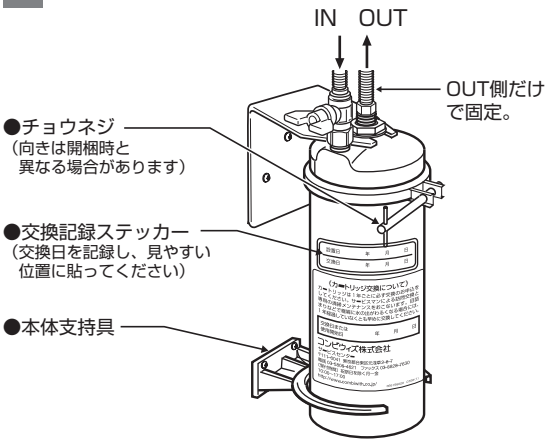
7 ハウジング本体を取り付ける。

❶ ハウジング本体にOリングをセットし、ハウジングキャップに差し込みます。

❷ 締め付けバンドを取り付け、チョウネジをしっかりと締めてください。



8 交換取付完成図



⚠注意

- ●IN、OUTを間違えていないか、よく確認して下さい。
- ●締め付けバンド部から水漏れがないかを確認してください。水漏れがする場合は、Oリングのずれを点検してチョウネジをしっかりと締めてください。

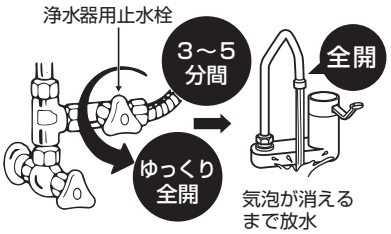
9 3～5分間放水と水漏れチェックをする。

❶ 単水栓レバーまたは混合栓レバーを「全開」にしてください。

❷ 浄水器止水栓をゆっくり開きながら「全開」にしてください。浄水器の空気を抜き、また充填物（活性炭など）を水洗するために、約3～5分間放水してください。

☆ **当社調乳用温水器CH22-2の場合**
本体側の後ろから一旦給水管をはずし、水を出します。このとき捨て水は手洗いなどに流すか、バケツなどに取って排水してください。排水後は給水栓を元に戻してください。

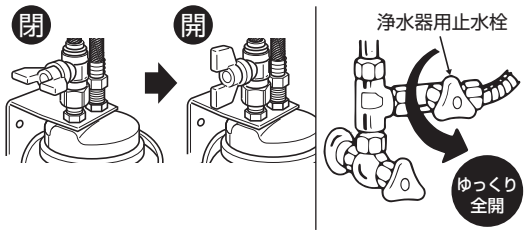
❸ 浄水器専用水栓を閉め、浄水器および配管各部より水漏れがないか確認してください。



※図は当社浄水器温水器シンク製品を使った場合のイラストを使用しています。

10 止水栓を開ける。

配管に対しツマミを垂直にします。給水側にさらに止水栓がある場合は、それも開けます。開ける動作はゆっくりと行います。最後にろ過流量の調整を行ってください。適正ろ過流量200ml/3秒です。



11 正しく動作するか確認する。（CH22-2を除く）

単水栓レバーまたは混合栓のレバーを操作し、正しく動作するか確認してください。最後に水を止めて、浄水器やその他の配管に水漏れがないか確認の上、左記注意事項どおり捨て水をしてください。

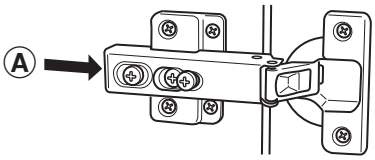
専用台扉の交換手順

注意

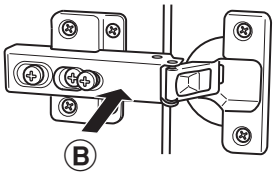
●各調節ネジ(裏側がかしめ加工してある場合)は、必ず手回しドライバーにて、調節ネジの調節範囲内での微調整を行ってください。
エアー・電動・充電ドライバーでの調整は、かしめ加工部に過大な締め付けトルクが加わった場合に、ネジ山の破損(空回りや調節ネジの脱落)により、機能不良となることがありますのでおやめください。

扉の取りはずしと取り付け方法

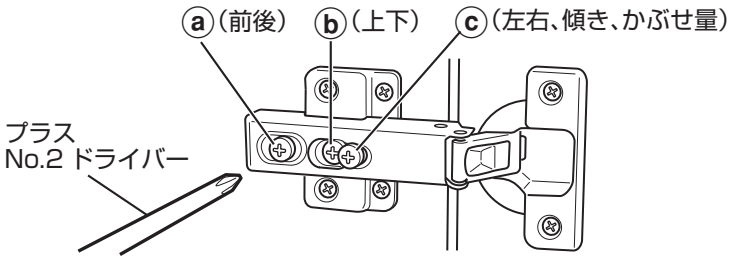
Ⓐ部を押して、扉を取りはずす。

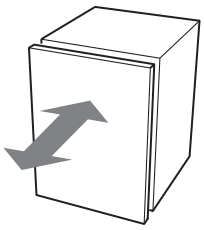


Ⓑの方向に押し付け、扉を固定する。



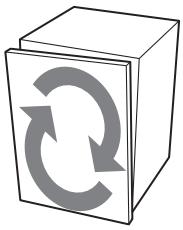
扉の調節方法





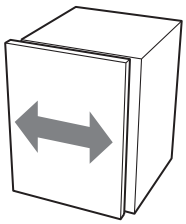
前後調節

ネジⓐをゆるめ、扉を前後に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。



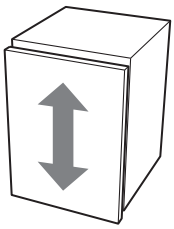
傾き調節

ネジⓒを左右に回して行います。
操作はネジⓐ、ⓒを締めたまま行います。



かぶせ量調節(扉の左右調節)

ネジⓐを時計方向に回すとかぶせ量が多くなり、反時計方向に回すと少なくなります。
操作はネジⓐ、ⓒを締めたまま行います。



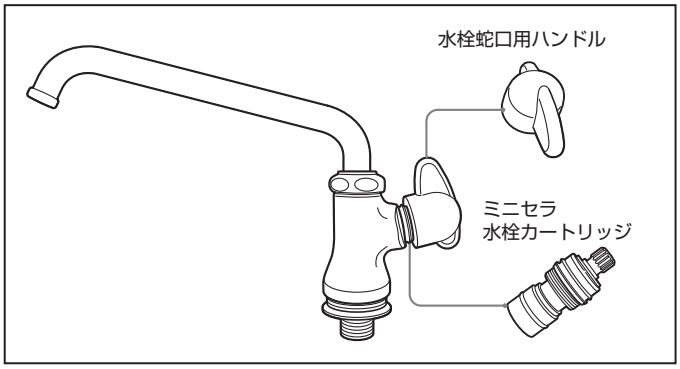
上下調節

ネジⓑをゆるめ、扉を上下に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。

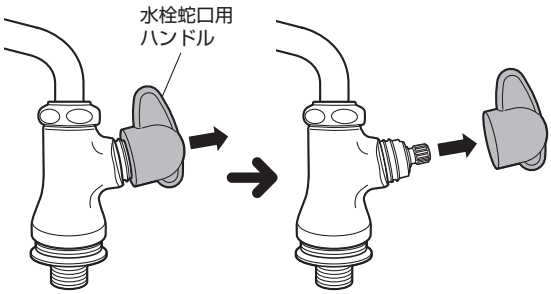
ミニセラ水栓カートリッジの交換手順

ミニセラ水栓カートリッジの取りはずし方法

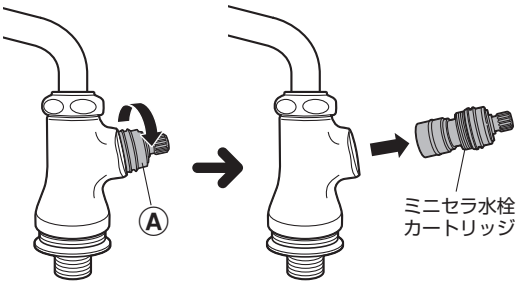
※CH22-3/4の場合



1 水栓蛇口用ハンドルを引き抜く。



2 スパナ、またはモンキーレンチでⒶ部をゆるめ、ミニセラ水栓カートリッジを取りはずす。



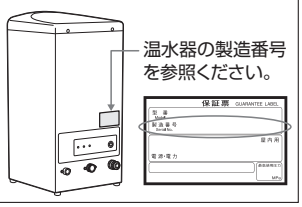
ミニセラ水栓カートリッジの取り付け方法

1 新しいミニセラ水栓カートリッジをご用意いただき、上記の「取りはずし方法」の逆の手順で取り付ける。

※水栓蛇口用ハンドルを取り付ける際, ハンドルの向きに注意して取り付けてください。

memo

保 証 書

製品種類	調乳用温水器 CH22シリーズ	製造番号 
保証期間	お取り付けから 正規のご使用下で1年間	

お施主様	お名前
	ご住所　〒　　－ TEL.（　　）　　－
ご購入業者	
納 品 日	年　　月　　日

取扱説明書および本体注意書きラベルなどの記載内容に従った正常な使用状態で故障した場合、本書を提示の上、ご購入業者または下記コンビウィズ株式会社にご連絡ください。保証期間内にて無料で修理いたします。

●保障期間中であっても、次の場合は有料修理となります。

①本来の使用用途以外でのご使用に起因する故障。
②適切な維持管理を怠ったことに起因する故障。
③メーカー、販売元が指定する業者以外の修理・調整・改造に起因する破損・故障。
④保管環境の影響など本製品以外の外部影響に起因する破損・故障。
⑤ご購入後の輸送、落下などに起因する破損・故障。
⑥経年劣化、消耗部品の過酷な使用状況による故障。
⑦水質汚濁（赤錆も含む）による目詰まりや給湯不良。
⑧規定電圧、水圧等を超えたことによる不具合、水漏れ。
⑨天災 / 天変地異 (火災、落雷、噴火、洪水、津波、地震)、戦争 / 暴動等による不具合。
⑩本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
⑪本書のご提示がない場合。
⑫有料修理の場合に要する発送運賃。

●上記保証は日本国内においてのみ有効です。
●温水器本体およびキャビネットの定期メンテナンス、浄水器の定期交換を実施しなかった場合の不具合は対象外です。
●製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。
●保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客様の故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

※定期点検の結果、不具合発生が認められた場合は、上記範囲内での保証とさせていただきます。

製造元 コンビ株式会社
〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7

販売元 コンビウィズ株式会社
〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7
サービスセンター　TEL:03-5806-4621　FAX:03-5828-7630

Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ（www.combiwith.co.jp）からも
ダウンロード（PDF）できます。ご活用の程、お願いいたします。

●製品に関するお問い合わせ

販売元 コンビウィズ株式会社

本社 / 東京営業所　〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7
TEL.03-5828-7631 FAX.03-5828-7630
大阪営業所　〒540-0026　大阪市中央区内本町2-4-16
TEL.06-6942-0384 FAX.06-6942-0398

●修理・点検に関するお問合せ／コンビウィズ㈱ サービスセンター

［受付時間］祝祭日を除く、月～金 10:00 ～ 17:00

TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

製造元 コンビ株式会社

〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7

○本書に記載されている文章、イラスト等の無断転載を禁止します。

149886250 1411(1)